



出中だより

第2号

発行 令和5年7月20日(木)

砺波市立出町中学校

共に学ぶ

教頭 大井 章子

「実験の方法はこのやり方の方がいいと思うけれど、どうかな。」

「このフレーズは、だんだん強くして歌う方が決意した気持ちが表れると思うよ。」

「説明する順番を入れ替えるのがよいか、そのままがよいか。どちらの方が言いたいことが伝わるかな。」

授業中、話し合う生徒の声が聞こえてきます。課題について、ペアやグループで話し合ったり、時には離れた席の友達に意見を聞きに行ったりもします。タブレット端末で調べものをしながら話し合いをする生徒もいます。そして、「あっ、そうか!」という気付きの声が聞こえてきます。そういうとき、生徒の表情はパッと変わり、とても生き生きとします。

本校の今年度のアクションプランの一つは、「自分の考えをまとめ、他の人と話し合うことによって、考えや取り組み方を見直すことができる」です。

変化が激しい世の中では、課題解決の方向性を自分で見付けて実践したり、修正を図ったりして、必要な内容を考えることができるようになることが大切になります。そのときに、人と対話することはとても有効です。

話し合いの前に、友達に自分の考えを言えるようにノートに書き出し、準備をします。そして、相手から、問い返されたり助言を受けたりすることで、自分の考えを改善していきます。

「自分が考えつかなかったことを友達は考えていて、そういう考え方もあった。」「友達は、図や表を入れて結果をまとめていて、分かりやすいやり方だと思った。」

授業の振り返りで生徒が書いたものです。「あっ、そうか!」という学びの多い授業を目指して、出中の教員もさらなる工夫をしていきます。



※学校ホームページ鋭意更新中→

《2学期の予定》

- 9月 2日(土) 運動会
- 9月25日(月)～9月29日(金) 砺波市「社会に学ぶ『14歳の挑戦』(2年生)
- 10月20日(金) 和鐘文化祭(合唱コンクール)
- 10月21日(土) 和鐘文化祭
- 12月20日(水)・21日(木) 保護者会